

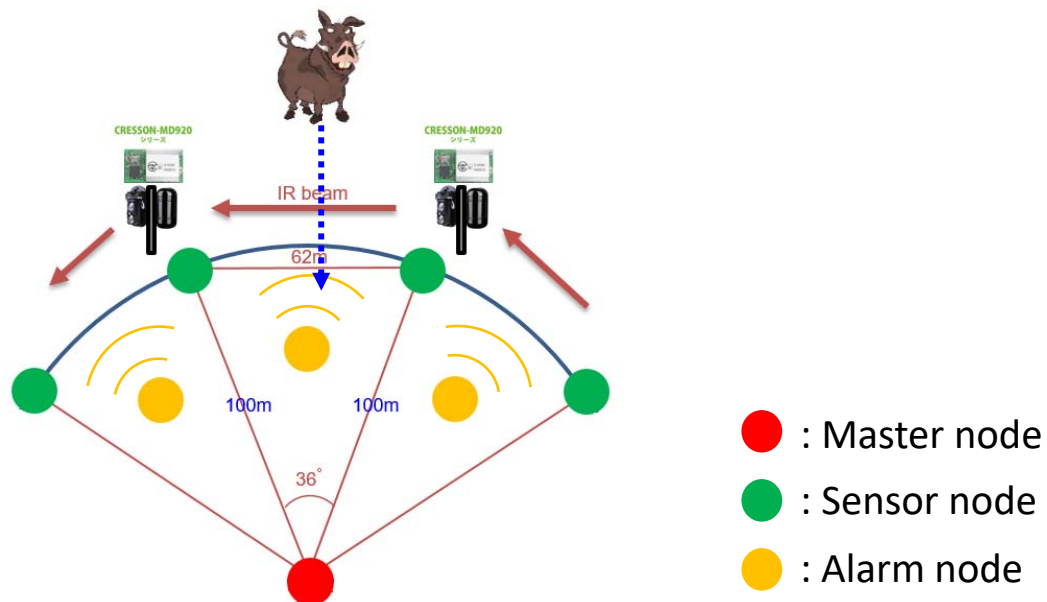
# 鳥獣害監視システム「vBee-Net」

## 概要

- 現場が抱える作物の食い荒らしによる甚大な被害を防止すべく、鳥獣害監視システム「vBee-Net」を開発
- 各種センサー、カメラ、スピーカー等と連携し、動物検知とスピーカーからの大音量、威嚇音などによる追い払い機能を有する。
- 本システムは、親機(1台、カメラ搭載)、検出機(2台)、警報機(1台)を基本構成とする。
- 電源供給はソーラーパネルを適用する事で、電池交換は不要。
- 検知データ、撮影した画像は、弊社サーバーにて管理し、スマートフォンで管理やデータの確認が可能。
- 弊社で開発した無線モジュールを搭載する事で、広範囲に展開している草地、農場においても対応可能。
- 現在、日本国内の農地、ベトナム国内の養殖池等で実証実験実施中であり、興味ある方にはモニター販売可能。

## 導入効果

- 本システムの導入により、収穫時期の食い荒らし被害を抑止する効果が期待できる。特に夜間等において草地、農場への動物侵入を本システムで検知し、生産者へ一早く通知する事で食い荒らし防止対策を講じる事が出来る。
- さらに、カメラとの連携により、草地、農場へ侵入した動物の撮影や、警報音との連携により、侵入自体を抑止する効果も期待できる。



## ○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	
茶	花き		林業		
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物	
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業	その他

## ○ 開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	○
一般販売中	
その他	

## ☞ 連絡先

CMエンジニアリング株式会社  
 デザインサービス事業部  
 営業部 営業企画チーム  
 TEL:03-6420-0946  
<https://cmengineering.co.jp/>  
[cme-sales@cmengineering.co.jp](mailto:cme-sales@cmengineering.co.jp)

情報記載日 : 2020年9月29日